

銀座余情

能と狂言

お話 茂山童司

「佐渡狐」さわづき

佐渡のお百姓 茂山あきら
越後のお百姓 茂山逸平
奏者 丸石やすし

「賞聒」ちらいせき

夫 茂山千三郎
女房 茂山童司
舅 茂山千作

「寝音曲」ねおんぎょく

太郎冠者 野村萬斎
主 石田幸雄



「賞聒」©桂秀也

東西狂言



「寝音曲」©政川慎治

「佐渡狐」©川西善樹

実際の配役と異なります。

銀座余情

能と狂言

GINZA YOJO No.4 To KYoGEN

大倉源次郎 人間国宝認定祝賀

能卒都婆小町

お話「美女の残影」『心の花』の余香 村上湛

一調一管「音取置鼓」

笛 藤田六郎兵衛
小鼓 大倉源次郎(人間国宝)

能「卒都婆小町 一度之次第」

シテ 大槻文蔵(人間国宝)
ワキ 福王茂十郎

フキシレ 福王和幸
笛 藤田六郎兵衛

小鼓 大倉源次郎(人間国宝)
大鼓 亀井忠雄(人間国宝)

後見 浅見真州
地頭 観世鏡之丞

銀座余情

能と狂言



2018年 7月15日(日) 13時00分開演 [12時30分開場]

会場 観世能楽堂 (東京都中央区銀座6丁目10番1号 GINZA SIX地下3階)
入場料 / S 12,000円 A 8,000円 B 6,000円 [能と狂言割引セット券] S 19,500円 A 13,500円
※全席指定・税込 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください ※当日券は500円増 ※セット券はセクターエイティエイトで前売のみ限定数販売
※B席セット券はございません ※車いすでご来場の方はセクターエイティエイトまでお問合せください
□お申込み・お問合せ:セクターエイティエイト 06-6353-8988(平日10時~18時)

一般発売 | 3月23日(金) 10時発売開始

チケット販売所
セクターエイティエイト TEL.06-6353-8988 (平日10:00~18:00) お手元にこのチラシをご用意いただき、お申し込みください。
【振込先】ゆうちょ銀行 14090-57243791 (株)セクターエイティエイト / 三菱東京UFJ銀行 天満支店 (普)0871618 (株)セクターエイティエイト
KENSYOインターネットチケットサービス[PC]http://www.nohkyogen.jp/ 【モバイル】http://www.nohkyogen.jp/mobile
○チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード485-129]http://t.pia.jp/ ○イープラス http://eplus.jp
○ローソンチケット TEL.0570-084-005 [Lコード31675]http://l.tike.com/ ○観世能楽堂 TEL.03-6274-6579

□主催・企画制作 / SECTOR88 □協賛 / チョーヤ梅酒株式会社

2018年 7月15日(日) 17時00分開演 [16時30分開場]

会場 観世能楽堂 (東京都中央区銀座6丁目10番1号 GINZA SIX地下3階)
入場料 / S 8,500円 A 6,500円 B 4,500円 [能と狂言割引セット券] S 19,500円 A 13,500円
※全席指定・税込 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください ※当日券は500円増 ※セット券はセクターエイティエイトで前売のみ限定数販売
※B席セット券はございません ※車いすでご来場の方はセクターエイティエイトまでお問合せください
□お申込み・お問合せ:セクターエイティエイト 06-6353-8988(平日10時~18時)

一般発売 | 3月23日(金) 10時発売開始

チケット販売所
セクターエイティエイト TEL.06-6353-8988 (平日10:00~18:00) お手元にこのチラシをご用意いただき、お申し込みください。
【振込先】ゆうちょ銀行 14090-57243791 (株)セクターエイティエイト / 三菱東京UFJ銀行 天満支店 (普)0871618 (株)セクターエイティエイト
KENSYOインターネットチケットサービス[PC]http://www.nohkyogen.jp/ 【モバイル】http://www.nohkyogen.jp/mobile
○チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード485-129]http://t.pia.jp/ ○イープラス http://eplus.jp
○ローソンチケット TEL.0570-084-005 [Lコード31675]http://l.tike.com/ ○観世能楽堂 TEL.03-6274-6579

□主催・企画制作 / SECTOR88 □協賛 / チョーヤ梅酒株式会社

銀座余情

能と狂言

能卒都婆小町

一度之次第

大倉源次郎 人間国宝認定祝賀

七月十五日(日)午後一時開演 観世能楽堂

お話

美女の残影「心の花」の余香 村上 湛

一調一管

音取置鼓

笛 藤田六郎兵衛
小鼓 大倉 源次郎

《休憩二十分》

能

小野小町 大槻 文藏

卒都婆小町

高野山の僧 福王茂十郎
一度之次第 從僧 福王 和幸

大鼓 亀井 忠雄
小鼓 大倉源次郎

笛 藤田六郎兵衛

武富 康之

大槻 裕一

馬野 正基

後見 浅見 真州

観世 淳夫

浅井 文義

赤松 禎友

青木 健一

観世鏡之丞

地謡

長山 桂三

柴田 稔

(出演者・番組が一部変更になる場合がございますので、予めご了承ください)



大槻文藏

OTSUKI BUNZO

人間国宝、シテ方観世流。1942年生まれ。祖父十三、父秀夫および、観世寿夫、八世観世鏡之丞に師事。1947年「鞍馬天狗」にて初舞台、以降、三老女の披露とともに、復曲能、新作能にも積極的に携わる。紫綬褒章、旭日小綬章、日本学賞など受賞多数。公益社団法人能楽協会大阪支部長、大阪能楽養成会副会長、大阪文化芸能国民健康保険組合理事長、公益財団法人大槻能楽堂理事長。2016年に重要無形文化財保持者各個人認定(人間国宝)。2016年度、日本芸術院賞受賞。



大倉源次郎

OKURA GENJIRO

人間国宝。小鼓方大倉流十六世宗家。1957年生まれ。父十五世宗家大倉長十郎に師事。1965年独鼓「鮎の段」にて初舞台。1985年十六世宗家を継承。新才能、復曲能に数多く参加。能楽DVD「大和奏曲抄」「五体風体」を制作。1991年大阪市咲くやこの花賞、2015年観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。2017年に重要無形文化財保持者各個人認定(人間国宝)。



村上湛

MURAKAMI TATSU

明星大学教授、財団法人観世文庫評議員、演劇評論家。1963年生。早稲田大学・大学院に学ぶ。文化庁芸術祭審査委員、芸術選奨選考審査員等を歴任。『日本経済新聞』能楽批評欄を担当。能の復曲・新演出・新作にも数多く携わる。著作に、「すぐわかる能の見どころ～物語と鑑賞139曲」(東京美術)、『(仮題)残花抄～村上湛演劇評論集』(雄山閣・近刊)のほか。

能「卒都婆小町 一度之次第」

そとばこまち いちどのしだい

高野山の僧(ワキ・ウキツル)が上京の途中、乞食の老婆(シテ)に出会う。朽ちた卒都婆(町卒塔婆)ちようそとば(木柱に梵字を記した高野山への里程標)に腰掛ける非礼を咎められた老女は反抗し、「本来無物」の禅機を發揮して僧を論破する。老乞食は名歌人かつ絶世の美女として知られた小野小町のなれの果てだった。若き日の小町を恋慕して叶わずに死んだ深草少将の怨念に突如として憑り付かれた老女は、少将無念の「百夜(ももよ)通い」のさまを真似て見せるが、やがて狂乱の心を鎮め、悟道に入ること祈念する。

芸能の源泉たる「問答芸」と「狂乱芸」を軸に、古作の能を世阿弥が切り詰めて現型に編集した由緒ある能。江戸時代に作られた小書(こがき)特殊演出「二度之次第」は開曲早々ワキより先にシテを出す斬新な工夫である。

(文・村上湛)



観世能楽堂
東京都中央区銀座6丁目10番1号 GINZA SIX地下3階

人間国宝が揃い踏み!!究極の布陣でお届けする最高秘曲「卒都婆小町」。

能と狂言、東西の豪華出演者による珠玉の二公演

いるか?いないか?「佐渡狐」、三者三様「貫簪」、謡も楽しい「寝音曲」。

七月十五日(日)午後五時開演 観世能楽堂

お話 茂山 童司

大蔵流

佐渡狐

佐渡のお百姓 茂山あきら

越後のお百姓 茂山 逸平

奏者 丸石やすし

後見 増田 浩紀

休憩 (十五分)

大蔵流

貫 簪

夫 茂山千三郎

女房 茂山 童司

舅 茂山 千作

後見 井口 竜也

和泉流

寝音曲

太郎冠者 野村 萬斎

主石田 幸雄

後見 月崎 晴夫

(出演者・番組が一部変更になる場合がございますので、予めご了承ください)

銀座余情

能と狂言

東西狂言



野村萬斎

NOMURA MANSAI

狂言方和泉流。1966年生まれ。祖父・六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ごぼる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。1994年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等、受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。



茂山千作

SHIGEYAMA SENSAKU

狂言方大蔵流。1945年四世茂山千作の長男として生まれる。父および祖父三世茂山千作に師事。5歳で初舞台を踏む。1976年弟眞吾(現七五三)、従兄弟あきらと「花形狂言会」を発足、共に主宰する。1000年ぶりの復曲「袈裟求」をはじめ、SF狂言「狐と宇宙人」など復曲・新作狂言にも積極的に取り組んでいる。1986年京都市芸術新人賞受賞。1994年十三世千五郎襲名、当主となる。同年「花形狂言会」を卒業。2004年京都府文化功労賞、2008年文化庁芸術祭大賞受賞。2016年旭日双光章受章。2017年五世千作襲名。



茂山あきら

SHIGEYAMA AKIRA

狂言方大蔵流。1952年二世茂山千之丞の長男として生まれる。本名晃。父および祖父三世茂山千作に師事。3歳で初舞台。1976年に正義(現五世千作)、眞吾(現七五三)、と「花形狂言会」を結成し、活動する。1981年にはアメリカの演劇人ジョナ・サルズと「N OHO(能法)劇団」を主宰し、狂言やベケットらの作品を国内外で上演。その他新作狂言、オペラ、新劇、パフォーマンスなどの企画・構成・演出なども手がける。1992年京都市芸術新人賞受賞。著書に「京都の異」(KKベストセラーズ)がある。2013年京都府文化賞功労賞受賞。

◆ あらすじ ◆

「佐渡狐」 さとづつね

越後と佐渡のお百姓が年貢を納めに行く途中、道連れになります。佐渡に狐がいるかどうかで小刀を賭けた言い争いになり、二人は奏者に判定を委ねることにしますが…。小刀をかけての贈取賭のストーリー!と聞くとドロドロした人間ドラマかと思えますが、しかしそこは狂言らしくからりと笑える結末が待っています。

「貫 簪」 もらいむこ

夫の酒乱に耐えかねた女房は子供を置いて実家に帰ってしまいます。父親の説得にも決心を変えない女房のもとに夫が謝りにやってきました。父親は娘はいないと言いますが…。残した子供に後ろ髪ひかれる女房、女房を連れ戻したい夫、言葉とは裏腹に娘が心配でならない父、と三者三様の思いが交錯します。

「寝音曲」 ねおんぎょく

主人に謡を所望された太郎冠者は、いつも謡わされてはかなわないので、酒を飲まなければ声が出ないとか、妻の膝枕でないと謡えないなどともったいをつけるのですが…。太郎冠者と主人のとぼけたやりとりが楽しい。太郎冠者狂言の代表曲です。情趣溢れる「大原木」や、ドラチックな「海人 玉ノ段」など、次々に登場する狂言小舞謡も聞き応えがあります。